兵衛谷　2011 年 8 月 26～29 日

Ｌ菊池、記録田中

菊池君から兵衛谷のお誘いがあり、日程的に何とかなりそうだったので参加することにした。

兵衛谷は木曽御嶽の西側からアプローチして、シン谷を経て御嶽の賽の河原に突き上げる長い沢である。

兵衛谷は美しい、泳ぎが多い、リスクの少ない「癒し系」の沢だと言う。

25 日

午後 9 時半自宅まで迎えに来てくれた菊池号で出発。途中、濁河温泉市営駐車場に自転車をデポして、道の駅「小坂」に午前 3 時頃到着した。小雨が降る中、屋根下にテントを設営して仮眠。

26 日

6 時に起床して、沢支度を整えて巌立峡駐車場を 7 時 40 分に出発。駐車場を橋の方に向かうと階段があり、簡単に入渓できる。

（濁河川出合　入渓点…水多いでしょ）

昨夜から降り続ける雨でかなり増水しているようで、過去の記録とはずいぶん雰囲気が違う。入渓してすぐに、首までどっぷりつかる、泳ぐ、の連チャンだ。簡単に高巻くことができるのにわざわざ流れに抗して進んで行く。

最初の核心部、右岸の頭がつかえるトラバース。菊ちゃんリードで少し苦労している。背が高すぎて困っているよう。私はしゃがむだけで残置シュリンゲのおかげもあってあっさり通過。

（左壁トラバース）

その後はたいした悪場もなくほとんど水線通しに進める。しかし、一の沢を過ぎて、気合が入らなくなってきた。イワナはいっぱい泳いでいるし、このまま目一杯進んでも、釣とたき火をする時間が無くなってしまうかも、と厭戦ムード突入である。兵衛谷出会いを過ぎて 870m 付近で早々にタープを張った。

27 日

朝早く起きるつもりが、目が覚めると明るい。6 時に起床して、8 時過ぎに出発。昨日より少し減水している。天気もそれほど悪くはなく、時々薄日が差すくらいだ。何となくウキウキしてくる。でも、水線通しではやたらと泳ぐ場面が多くて結構疲れる。名物の岩のトンネル、出口のない滝を超えるとすぐに取水堰堤に着く。堰堤の斜面を登っている記録もあったが今回は濡れているので全然ダメ。右から簡単に越えられる。

途端に水量が増えたのでまたまた釣モードに突入。しかし、釣れない。

仕方なくまた水線通しに進もうとするのだが、いかんせん水量が多すぎてきわどいヘツリと泳ぎの連続になる。さらには天候も崩れて雨が降り出した。

吹上滝を右から高巻くと良い天場があったので本日終了。

夜は結構雨が降った。沢は増水し、ヘッドランプで川面を照らすと真っ白だ。

おまけにブルーシートも雨漏りして、ずぶ濡れになってしまった。

28 日

今日も寝過ごした。今日は 4 時間くらいで材木滝だから、と高をくくってのんびり 8 時半に出発。すぐに柱状節理の連漠。右から簡単に高巻いて、と踏み跡がたくさんあり迷ってしまう。柱状節理の岩峰基部を巻くような踏み跡をたどるとほとんど垂直のトラバースになってしまった。さらに、落ちたら終わりのような場所が出てきたので安全を期してロープ確保でさらにトラバースすると突然踏み跡が消え、その先は崖。おそらく、懸垂で 2 段の滝の中間に降りたものと推測できる。降りた後もいやらしい登りが待っているのが見えたので、あっさり引き返してルンゼを登るルートに変更した。

1 時間半もロスしてしまった。

しばらく進むと竜門滝。見るからに「取り付く島なし」、に見えたがよーく見ているとガンガン水が落ちている際に手が届けば何とかなりそう、に見えた。首までつかって、と記録にあったがまったく足が届かない。泳いで取り付こうとするものの引き剥がされそうになる。しっかりした手がかりが有るので助かった。取り付けば階段状の簡単な滝だ。

（右から回り込んで取り付くのだ）

しばらく行くと袴滝。右岸のルンゼから高巻くともろい垂壁になるらしい。ここは少し下流にあるピンクのテープに従って高巻いた。まるで登山道のように整備されたルートだった。そのあとはすぐに材木滝。

今回の兵衛谷遡行はここまで。

次回は天気の良い時に来たいものだ。